

地方独立行政法人長野県立病院機構 平成24年度年度計画の概要

長野県立病院機構

○ 概 要

独法化2年度の23年度計画は、「地方独立行政法人の本格始動」をテーマに、各病院、各組織が独法化の利点を活かしながら、夕暮れ総合診療等患者中心の医療の実践（須坂）・小児救急医療体制の強化（こども）など積極的な医療提供の展開、電子カルテシステムの整備、実践的な研修制度や医療安全活動の導入、プロジェクトチームなど5病院と本部の有機的な検討組織の立上げによる検討・研修活動などを推進してきた。

24年度計画は、これまでの2年間で見えてきた課題や自らの使命・責務を見据えて、「**足腰の強い経営のシステム（基盤）づくり**」をテーマに、独立法人化で得た経営の自由度を今後より適切に活用し、将来へ向けて大きく展開できるよう、各分野（医療サービス、経営、人材の確保・育成など）における当機構独自のシステム（基盤）づくりを中心に、スピード感をもって取り組む旨を定めるものとした。

○ 平成24年度年度計画のポイント

- (1) **公的ニーズが高まる新たな医療課題への積極的なチャレンジ**
 - 遺伝子検査を活用した治療の推進（須坂）、多機能デイケアの導入（こころ）訪問リハビリ等の充実（阿南）、集中的急性期リハビリの実施（木曽）先天性心疾患成人患者専門外来、県小児予防接種センターの開設（こども） 等
- (2) **確実な「データ分析力」に裏打ちされたより良い経営の推進**
 - ・全職員がいつでも診療・会計データを参照・分析できるシステムの開発
 - ・DPCデータの分析力・解析力の向上、信大病院との勉強会の立上げ
 - ・ベンチマーク病院の経営ノウハウの積極的導入、投資計画・収支見通しの策定
 - ・経費節減検討チームの設置による委託費・人件費等の適正化の検討 等
- (3) **県内医療機関や県民の皆さんとの協働と積極的なコミュニケーションの推進**
 - ・「こども療育推進事業」、「先天性心疾患スクリーニングネットワーク」（こども）
 - ・多施設連携による「地域医療人研修ネットワーク」の推進（研修セ）
 - ・県内各地で「公開講座」を積極的に開催、あいさつ運動の実施（全病院） 等
- (4) **創造的な人材確保・育成策の展開**
 - ・人材確保担当の設置（本部）、家庭医・病院総合医の養成開始（研修セ）
 - ・看護学校準備室を設置し「木曽看護専門学校3年課程」の開設準備開始（本部）
 - ・院内保育所の開設（須坂）、「信州医師確保総合支援センター」分室（研修セ）等
- (5) **防災対策・危機管理対策の充実**
 - ・「災害時対応マニュアル」の充実・見直し、災害用医薬材料品等の備蓄（全病院）
 - ・災害時の連絡手段確保のための衛星携帯電話の整備（こころ・阿南・木曽）
 - ・BCP策定に向けた電子カルテデータバックアップ等の検討開始（本部） 等
- (6) **機構独自の新たな人事・給与制度の構築**
 - ・医療サービス、施設基準、収支見通しを反映した効率的な職員配置（全組織）
 - ・医療組織にふさわしい人事評価制度の再構築（本部） 等

○ 計画の主な内容

第1 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 地域医療、高度・専門医療の提供

<p>須坂病院</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・内視鏡センター、外来化学療法室を中心としたがん診療の充実 ・新入院患者に対する土曜日のリハビリテーション及び栄養指導の実施 ・新遺伝子解析装置を用いた遺伝子検査とその治療の推進 ・感染症対策拠点病院としての感染症医療提供体制の充実
<p>こころの医療センター駒ヶ根</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・24時間体制の精神科救急実施 ・児童の精神疾患に係る専門医療の提供（児童精神科） ・こども病院との連携によるこどもの心の診療の充実 ・アルコール・薬物依存症の医療提供の充実 ・新多機能デイケアの導入による精神科デイケア機能の充実 ・医療観察法病床の運用
<p>阿南病院</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・救急患者の受入体制の充実 ・新言語療法に関する訪問リハビリ、脳血管疾患リハビリ及び嚥下機能訓練の開始 ・へき地医療の提供
<p>木曾病院</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・泌尿器科及び脳血管疾患関係の診療の充実 ・新入院患者に対する休日も含めた集中的な急性期リハビリの実施 ・へき地医療の提供 ・内視鏡システムの導入によるがん診断機能の向上 ・がん相談支援センターの充実 ・DMAT（災害派遣医療チーム）
<p>こども病院</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを必要とする患者について関係機関と連携した在宅療養支援の充実 ・発達障害専門外来の円滑な運用 ・こころの医療センター駒ヶ根との連携によるこどもの心の診療の充実 ・出生前心臓診断ネットワークの充実等、インターネットを活用した地域拠点病院間の遠隔診断を推進 ・新先天性心疾患の術後成人患者対象の専門外来の開設 ・新エコーセンターの診療機能の充実 ・新不育症妊婦の受け入れの検討 ※不育症：妊娠するが流産・死産を繰り返す状態 ・新「県小児予防接種センター（仮称）」の開設・運営 ・新特定集中治療室の後方病床の設置の検討

<p>災害医療の提供 及び防災対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の適切な医療活動の実施 ・DMAT（木曽病院） ・必要な災害用医薬材料品等の備蓄 ・新「災害時対応マニュアル」の充実や見直し ・新衛星携帯電話の整備 （こころの医療センター駒ヶ根・阿南病院・木曽病院） ・新B C P（事業継続計画）の策定に向け、災害に備えた電子カルテシステム等患者データのバックアップ等の検討
---------------------------	---

2 5病院のネットワークを活用した医療の提供及び地域医療への貢献

（地域医療機関との連携等）

- ・**新** 飯田市内の病院との看護師交流人事による連携の充実（阿南病院）
- ・病院と地域の診療所の看護師との「へき地看護研究会」を通じた連携強化
（阿南病院）
- ・発達障害専門外来の円滑な運用（こども病院）（再掲）
- ・出生前心臓診断ネットワークの充実等、インターネットを活用した地域拠点病院間の遠隔診断を推進（こども病院）（再掲）
- ・手術前のシミュレーション等が可能になる3Dモデル造形センターを、地域の医療機関及び医療関係教育機関も利用できる仕組みを整備（こども病院）
- ・**新** 地域の医療機関の職員が参加できる小児リハビリテーションの研修会・学習会の開催（こども病院）
- ・地域医療機関へのスキルスラボ等の貸与及び地域医療機関の職員が参加できるシミュレーション研修等の充実（研修センター）
- ・**新** 県内病院と連携し研修等を実施する「地域医療人研修ネットワーク」の構築
（研修センター）

（情報の共有化と活用）

- ・**新** D P C（診断群分類包括評価）調査データを用いた分析方法の構築
- ・**新** 県立5病院の主要なクリニカルインディケーター（臨床評価指標）をイントラネット上で常時見ることができるシステムの構築

3 県民の視点に立った安全・安心な医療の提供

（医療安全対策）

- ・医療安全への取り組み状況や医療安全マニュアルについて、互いに実地確認を行う相互点検の実施
- ・他県のこども病院との相互査察の実施（こども病院）
- ・北信地域他病院との感染症に関する相互査察の実施（須坂病院）
- ・**新** 医療安全マニュアルの標準化
- ・**新** 医療安全の実践指導者養成のための「体験型」研修の実施
- ・**新** 医療安全管理者等を対象とした医事紛争における折衝や交渉方法等に関する保険会社との情報交換会の開催
- ・**新** 職員の医療安全研修受講の促進：名札貼付用研修受講シールの作成
- ・**新** 感染症発生時の情報伝達訓練の実施（県立5病院）

(患者中心の医療の実践)

- ・ ⑨ 入院患者に対する土曜日のリハビリテーション及び栄養指導の実施 (須坂病院) (再掲)
- ・ ⑨ 土曜日の栄養指導業務の実施 (須坂病院) (再掲)
- ・ ⑨ 多機能デイケアの導入による精神科デイケア機能の充実
(こころの医療センター駒ヶ根) (再掲)
- ・ 多職種チームによる訪問ケアの実施 (こころの医療センター駒ヶ根) (再掲)
- ・ ⑨ 将来の7:1看護基準取得に向けた環境整備 (阿南病院)
- ・ ⑨ 入院患者に対する休日も含めた集中的な急性期リハビリの実施
(木曾病院) (再掲)
- ・ ⑨ 先天性心疾患の術後成人患者対象の専門外来の開設 (こども病院)
(再掲)
- ・ セカンドオピニオン外来の充実 (須坂病院・こども病院)
- ・ ⑨ 利用者の方へのあいさつ運動の実施

(電子化の推進)

- ・ 平成25年度の電子カルテシステム稼働に向けた準備 (阿南病院)
- ・ ⑨ 災害に備えた電子カルテシステムの患者データのバックアップの検討 (再掲)

(患者サービスの一層の向上)

- ・ ⑨ 5病院共通の患者満足度調査の実施
- ・ ⑨ 患者及びその家族を支援するチャイルド・ライフ・スペシャリスト及び患者サイドに立って患者からの相談等に対応する医療メディエーターの導入
(こども病院)
- ・ テレビCMの活用等病院機構及び県立病院の積極的な広報の実施
- ・ ⑨ 食堂の運営についての検討 (木曾病院)
- ・ ⑨ 来院者のサポートを行うフロアアテンダントの配置 (こども病院)

(地域との協力体制の構築)

- ・ 市町村及び福祉施設へのリハビリ指導のための職員派遣の拡充 (阿南病院)
- ・ 木曾地域の自然を活用した「木曾路の森セラピードック」の推進 (木曾病院)
- ・ ⑨ 長期入院患者の在宅療養移行支援のため、民間団体との協働による「こども療育推進事業」を実施 (こども病院)
- ・ 病院運営協議会、病院モニター、患者家族会からの提言を病院運営に反映

4 人材の育成・確保と県内医療水準の向上への貢献

(研修体制の構築)

- ・ 先進病院等への職員派遣研修の実施
- ・ ⑨ 家庭医、病院総合医育成のための研修プログラムの構築 (研修センター)
- ・ 新人看護職員研修体制の構築、支援 (研修センター)
- ・ ⑨ へき地医療研修センターの開設準備 (阿南病院)

- ・ スキルラボを使用したシミュレーション研修の実施 (研修センター・5病院)
- ・ ハワイ大学医学部SimTikiシミュレーションセンターにおけるシミュレーション教育教授法に関する研修の実施 (年2回) 及び同大学教授を招聘し、職員・県内外の医療関係者を対象に「シミュレーション・シナリオ・トレーニング」に関するセミナーを開催 (研修センター)

- ・ ⑨ 県内大学と連携し、直接大学院生の教育・研究の指導を行う連携講座の開設に向けた準備
- ・ ⑨ 県の「信州医師確保総合支援センター」分室として、県の医学修学資金貸与学生等からの相談対応・キャリア支援の実施 (研修センター)
- ・ ⑨ 県内病院と連携し研修等を実施する「地域医療人研修ネットワーク」の構築 (研修センター) (再掲)

(医療従事者の確保)

- ・ ⑨ 機構本部に人材確保担当を置き、医師・看護師をはじめとする医療系職種の採用活動をさらに充実
- ・ 看護学生に対する修学資金貸与制度の積極的な活用
- ・ ⑨ 阿南・木曾病院について、医療技術系学生向けの修学資金貸与制度を整備
- ・ ⑨ 平成26年4月からの県立病院機構の県木曾看護専門学校3年課程の開設に向けて、機構本部に看護学校準備室を設置し、教員の確保養成等の準備を実施

(医療関係教育機関への支援)

- ・ 地域医療機関へのスキルラボ等の貸与及び地域医療機関の職員が参加できるシミュレーション研修等の充実 (研修センター) (再掲)
- ・ 手術前のシミュレーション等が可能になる3Dモデル造形センターを、地域の医療機関及び医療関係教育機関も利用できる仕組みを整備 (こども病院) (再掲)

(医療に関する調査研究)

- ・ 診療情報の活用のため、須坂・こども両病院間に加え、こころの医療センター駒ヶ根にも平成25年度の電子カルテ相互参照稼働に向けて機器を構築
- ・ 県や市町村、NPO法人等関係団体と協働しながら、県立病院の取り組みや健康情報等を県民にお知らせする「公開講座」の積極的な開催
- ・ 治験及び共同研究の積極的な実施

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置

1 組織運営体制の構築

(柔軟な組織・人事運営)

- ・医療機関に適した病院機構独自の人事制度についての検討
- ・医療サービスの内容・施設基準・収支見通しを十分分析の上、効率的な職員配置に努力
- ・人件費の医業収益に対する比率（人件費率）の動向を注視し、その低減に努力
- ・事務職員及び医療技術職員のプロパー化を計画的に進めるための平成25年度以降の採用計画を作成
- ・病院運営上の課題に対応するため、病院間の横断的なプロジェクトチームを積極的に活用

(職員満足度の向上)

- ・**新** 0から3歳の子どもの対象とする院内保育所の設置（須坂病院）
- ・健康相談の充実及びメンタルヘルス・ハラスメント等心身の健康に関する研修の実施
- ・**新** 5病院共通の職員満足度調査の実施

(人事評価制度の構築)

- ・医師の業績評価の導入に向けて引き続き制度検討を実施
- ・看護職員の職の分類の見直しに合わせて、新たな職務遂行力評価制度を導入

2 経営体制の強化

(病院運営への参画)

- ・月次決算等の経営指標の内容の職員への周知
- ・**新** 全職員を対象とする病院経営に関する研修会の実施
- ・**新** 業務改善や増収・経費節減策に関する職員提案制度の実施

(効率的な業務運営)

- ・年度計画を達成するための行動計画（アクションプラン）を策定し、PDCAサイクルにより実施

(経営部門の体制強化)

- ・「事務部門強化に係る平成24年度計画」に基づく事務部門の体制強化
- ・事務職員のプロパー化の推進
- ・DPC請求の精度向上のための院内検討体制の整備（須坂病院・木曽病院）
- ・**新** DPCの平成26年度導入に向けて準備（こども病院）
- ・信州大学医学部附属病院との勉強会を通じ、DPC調査データの分析力・解析力を向上

3 業務運営の改善

(業務運営に必要な指標の把握と活用)

- ・クリニカルインディケーター（臨床評価指標）等の整備について、診療情報管理士連絡会で検討
- ・ベンチマークとする病院の病床利用率等の指標や財務状況を比較しながら、自院の経営状況を把握（県立5病院）
- ・人件費の医業収益に対する比率（人件費率）の動向を注視しその低減に努力（再掲）

(効率的な予算の編成と執行)

- ・経営ビジョンや年度計画、長期的な投資計画や収支見通しに基づき各県立病院が責任をもって予算原案を作成
- ・診療報酬改定の影響への対応、施設基準の総チェック
- ・未収金対策の充実
- ・**⑧**経費節減のための検討チームの設置
委託費・人件費等の適正化、業務全般の標準化についての検討
- ・医薬品購入については、県立病院間の情報共有及び客観的なデータに基づく交渉を実施し経費節減
- ・ジェネリック医薬品の採用の推進
- ・**⑧**中央材料部門の滅菌・洗浄等の業務の効率化の検討
- ・医療器械等審査部会による医療機器の選定の実施
- ・**⑧**導入後の医療機器の費用対効果を医療器械等審査部会で検証し、活用状況が見込みを下回っている場合は、利用率向上の検討を実施

第3 予算 別添予算資料のとおり

第4 短期借入金の限度額

- 1 限度額 20億円
- 2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等、資金繰り資金への対応

第5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときの計画 なし

第6 剰余金の使途 病院施設の整備、医療機器の購入等に充てる

第7 その他県の規則で定める業務運営に関する事項

(阿南病院耐震化事業)

平成25年6月の新本館棟のオープンに向けて建設工事の実施